

実用書式・ペン習字 選択の人へ 第5回目

美しい文字を書くために、そして正しい書式を知るためにこの講座はあります。
しつこいようですが(笑)、この課題に取り組む間だけ

○丁寧を書く

○納得がいかない文字は消して書き直す

は、心がけてください。

今回の課題は『ペン習字の基礎』石川芳雲著 P50 です。

『カタカナ』の『テ』～『ヤ』

漢字の草書体で、曲線的だった平仮名とは対照的に、直線的で角がはっきりしているのがカタカナです。それは、漢字の一部分だけに省略されたからです。左払いにも着目しましょう。P4 の楷書の基本点画、下段の左払いのうち、左払い②と左払い③がよくつかわれます。直線的な左払い②は実線、曲線的な左払い③は点線でしめしておきましたので、今回も目当てとしてください。

用具は、鉛筆かシャープペンシルです。

今回は

- ① 一段目の手本には、2 枚目のプリントを参考に上手く見えるポイントを赤で書き込む。
- ② 二段目はなぞり書き。
前回まで同様にはみださないこと。この時の気づきを大切に!!
- ③ 三段目は上の手本をよく見て丁寧に書く。

それ以上は、書きたくてもまだ書きすすめないでね。

* 提出は、後日連絡します。

ネ	ヌ	ニ	ナ	ト	テ
ネ	ヌ	ニ	ナ	ト	テ
ホ	ヘ	フ	ヒ	ハ	ノ
ホ	ヘ	フ	ヒ	ハ	ノ
ヤ	モ	メ	ム	ミ	マ
ヤ	モ	メ	ム	ミ	マ

カタカナ

片仮名は漢字の楷書体の一部分です。
 ※直線的なものは、直線的に書く。
 ※曲線的なものは、曲線的に書く。
 ※気をつけよう。